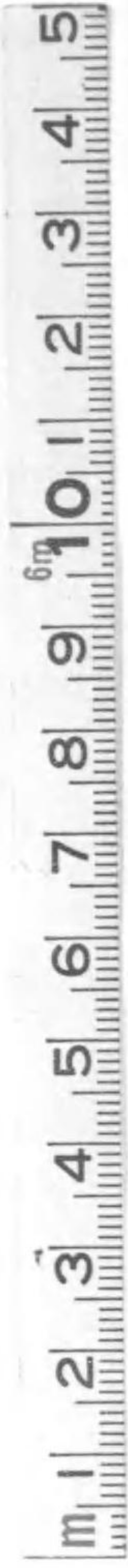


始



[布施市]農家統計調查概要 昭和十三年

布施市役所産業課統計係編

1424

925

# 農家統計調査概要

昭和13年

布施市役所

14.24  
925



昭和13年

## 農家統計調査概要

- 1 本書は昭和13年末現在に依り實施したる第2回布施市農家統計調査の結果概要を記述及び統計の二編に分ち収録したものである。
- 2 表中事實なきものは「-」、單位は「・」、數字の千位百萬位は「,」、單位に満たざるものは「0」を以つて示し其の他の符號を以つて區別したものは該表に註記した。
- 3 區域による區分は部落の近接して區別する必要を認めぬものは一區と見做し29區に分ち計上した。

布施市役所産業課統計係



# 目 次

## 記 述

第1章 調査概要	3
1 調査目的	3
2 調査範囲	3
3 調査項目	3
4 調査方法	5
5 調査機関	5
第2章 総 説	6
1 最近の布施市農業事情概観	6
2 農業事情總覽	7
3 農耕従事人員	8
4 副 業	9
5 耕作面積	10
6 農業經營事情	11

## 統 計 表

参考表 (耕地面積・農家戸數・農産額)	16
1 農家總覽	17
2 農家及耕地	18
3 農家戸數・従事人員別	20
4 農家戸數・耕作面積別	22
5 農家戸數・副業種別	24
6 農家戸數・田畑ニ依リ分チタル耕作面積別	26
7 農家戸數・經營ニ依リ分チタル耕作面積別	28
8 農家戸數・従事人員ニ依リ分チタル耕作面積別	28
9 農家戸數・自作小作別	30

## 記 述



第1章 調査概要

- 1 調査目的 本調査は本市に於ける農家戸数及びその耕作段別の構成を明らかにし、農業経営改善の基礎資料を與へん爲に行つたものである。
- 2 調査範圍 昭和13年12月末日現在に於いて布施市内に現住する農家に就き本市に於いて耕作すると否とに拘らず之を悉く包含してゐる。但し準農家は之を除外した。
- 3 調査項目

農家統計調査票

家畜頭数	段出別地	ケ於=内市施布 別段作耕ル				副業	農家から 従事スニ		移住ノ別	氏名	
		合計	自作	小作	自地		家族	戸主			女
其ノ他	畑田	畑田	畑田	畑田	畑田	家族	戸主	女	男	移住	氏名
	頭				畝					昭和十三年	現住所
	頭				畝					昭和十三年	
	頭				畝					昭和十四年	
	頭				畝					昭和十五年	
	頭				畝					昭和十六年	

## 農家統計調査票記入方ニ關スル注意

- 1 **農家氏名** 農業ニ従事スル家族ノ戸主又ハ世帯主ノ氏名ヲ記入シ 1世帯ニ本調査票 1枚ヲ使用スルモノトス。戸主又ハ世帯主ガ農業ニ従事セズソノ家族ニ従事スルモノアルトキハ 家族中農業従事者ノ代表者名ヲ記入セラレタシ。
- 2 **現住所** 町名又ハ大字名ヲ記入セラレタシ。
- 3 **土着又ハ移住ノ別** 大率明治時代以前ヨリソノ部落ニ居住スルモノヲ土着ト見做シ、大正時代以後他ノ市町村ヨリ移住シ來リタルモノヲ移住トシテ調査シ、該當ノ部分ニ「○」ヲ附セラレタシ。布施市内ノ他ノ調査區ヨリ轉住シ來リタルモノハ移住トセズ土着トシテ調査セラレタシ。
- 4 **移動ノ年月及事由** 布施市内ニ於ケル轉住ノ有無、又ハ市外ヘノ退去等其ノ他参考トナル事項ヲ記入セラレタシ。
- 5 **農耕ニ従事スル家族人員** ソノ世帯内ニテ農耕ニ従事スル人員（世帯主ヲ含ム）ヲ、副業ノ有無ニ拘ラズ男女ニ區別シテ何名ト記入シ、常備ハ之ヲ含ムモノトシ季節的傭人及ビ日傭ハ之ヲ除外セラレタシ。
- 6 **副業** 戸主又ハ世帯主、或ハソノ家族ノ代表者（農家氏名欄ニ掲ゲタル者）ニテ副業ニ従事スル者（農業以外ニ他ノ職ニ従事スル場合ハソノ収入ノ多寡ニ拘ラズ之ヲ副業ト見做ス）ノ職名ヲ戸主欄ニ記入シ、家族人員中農業ト其ノ以外ノ職業トニ従事スル者アルトキハ其ノ職名ヲ家族欄ニ記入セラレタシ。副業ハ可成具體的ニ何々電氣會社員、何々商、何々工場職工ト記入セラレタシ。家族欄ニハ特ニ農家氏名欄ニ掲ゲタル者トノ續柄ヲ記入シ、弟何々銀行員長男何々職工等ト記入セラレタシ。
- 7 **布施市内ニ於ケル耕作段別** 自作地、小作地ヲ各田畑ニ區分シ布施市内ノミノ耕作段別ヲ記入セラレタシ。耕作段別ハ畝以下ヲ四捨五入スルモノトス。
- 8 **出作地段別** 布施市外ニ耕地ヲ有スルモノハ之ヲ出作地段別欄ニ記入セラ

レタシ。但シ布施市内ノ他ノ調査區ニ耕地ヲ有スルモノハ之ヲ含マズ特ニ注意ヲ要ス。

- 9 **家畜頭數** 牛馬頭數ハ年末現在ニヨリ調査スルモノトス。牛馬ヲ飼養スルモノ年末現在ニソノ農家ニ居ラザルモノハ之ヲナキモノトシ、又借用ノ牛馬ニテモ年末現在ニソノ農家ニアリシモノハ之ヲ有ルモノトシテ計上シ其ノ頭數ヲ記入セラレタシ。其ノ他ノ欄ニハ豚、山羊、綿羊等ヲ前項ニ準ジテ計上シ其ノ家畜名及ビ頭數ヲ記入セラレタシ。但シ産業統計上調査ノ必要ナキモノハ計上ヲ要セズ。鶏、鷺ハ6月末日現在ノ飼養羽數ヲ記入セラレタシ。但シ牛、馬、豚等ノ牧場又ハ養鶏ヲ專業トスル農家ハ其ノ旨ヲ特ニ記入シ、頭數及ビ羽數ハ記入ノ必要ナキモノトス。
- 4 **調査方法** 農家統計調査票（昭和12年12月末日現在により調査記入したるもの、昭和13年中に農耕したるものについては新に作成）に依り昭和13年12月末日現在を以つて各該當農家に就き聴取調査をなしたものである。又耕作段別の不明瞭なるものは耕地カードにより計上した。
- 5 **調査機關** 布施市産業課統計係に於て之を擔當し、本市農林統計調査員がその擔當區内に現住する農家を直接調査し統計係之を集計したものである。

## 第 2 章 總 説

1 最近の布施市農業事情概観 農業事情を考へるに當つて先づ本市勢の現状を見る爲に人口増加趨勢を述べやう。昭和13年12月末日現在の本市推計人口は 118,291 人、世帯數 25,810 で之を昭和10年國勢調査の結果より見れば(同人口95,898人 世帯數21,008)人口22.393人(23.4%) 世帯數 4,802(22.9%)の激増を見てゐる。又その前回の國勢調査の結果に比すれば次表の如き著しい増加を示してゐる

	人 口	世帯數
昭和13年12月 末 日	118,291	25,810
10年(國勢調査)	95,898	21,008
5 年(ク)	63,009	14,542
大正14年(ク)	39,781	9,313
9 年(ク)	26,420	5,782

以上の如く顯著な人口の膨脹に伴つて本市の經濟事情も亦著しい躍進を示してゐる。

	昭和12		昭和11		昭和10	
	生産額	同割合	生産額	同割合	生産額	同割合
總 額	30,732,991 <sup>円</sup>	100.00	19,991,331 <sup>円</sup>	100.00	18,605,831 <sup>円</sup>	100.00
工 産 物	29,339,547	95.47	18,405,489	92.44	17,107,254	91.95
農 産 物	1,061,015	3.45	1,143,650	5.74	1,082,781	5.82
畜 産 物	314,567	1.02	354,050	1.78	410,846	2.21
水 産 物	17,862	0.05	8,142	0.04	4,950	0.02

生産額の膨脹につれて農業は漸次工業に壓縮せられた姿となり、昭和12年に於いては全生産額中の僅に 3.45% を占めるのみであり又農家戸數も昭和13年末に於いて全世帯數中の 4.77% を占めてゐるに過ぎない。然も農家1戸當の生産額を見れば昭和10年には 731圓、同 11年 800圓、同 12年 863 圓と増加せるに反し農家1戸當の耕作段別は昭和10年 8.2

段、同 11年 8.1段、同 12年 7.0段、同 13 年には 7.1段となり略逆の趨向を辿つてゐる。

而して大阪府の状況について比較すれば次の通りである。(昭和12年)

	農家1戸當耕作段別	農家1戸當生産額
大 阪 府	7.8 <sup>段</sup>	722 <sup>円</sup>
大 阪 市	7.2	608
堺 市	9.6	1,169
岸和田市	3.3	499
中河内郡	7.9	768
布 施 市	8.3	839

2 農業事業總覽 昭和 13 年 12 月末日現在に於ける本市現住農家戸數は 1,230 で前年の事實に比すれば 31 戸(2.5%)を減少し、現住世帯數(昭和 13 年 12 月末日現在)の 4.77% を占めてゐる。又米作農家戸數は 1,190 戸で全農家數の 96.7%、米作をせざる農家は40 戸で 3.3% となつてゐる。(米作農家戸數は昭和 13 年 9 月 20 日現在の調査により米の作付ある準農家1戸を含まず)。

現住農家戸數の中本市内に耕作せるもの 1,216 戸(99.0%)で出作者 140 戸(11.4%)である。又出作者中本市内にも耕作せるものは112 戸、出作のみを行ふもの 14 戸である。

現住農家を居住地域によつて見れば、長田 136 戸で最も多く稲田橋本 87 戸、御厨 85 戸、衣摺 84 戸、高井田、新喜多 73 戸等これに次いでゐる。

出作農家は友井 38 戸、新家 25 戸、荒本、菱屋東、小若江が各 15 戸、岸田堂 10 戸、稲田、橋本 7 戸、衣摺、南蛇草 4 戸、御厨、上小阪、中小阪、寶持、柏田、吉松、大連、北蛇草、各 1 戸でその多きものは何れも市の周邊部に位する部落であり隣接町村に出作するものである。

現住農家を土着移住別に区分すれば土着者 1,212 戸、移住者 18 戸で土着者が總數の 98.5% でその大部を占めてゐる。移住者は高井田、新喜多、新家、上小阪、各 3 戸、岸田堂、小若江、南蛇草、各 2 戸、三ノ瀬、太平寺、大連が各 1 戸で概ね寄留者の多い地域が目立つてゐる。

現住農家を經營別に分てば、専業者 839 戸 (68.2%) 兼業者 391 戸 (31.8%) であり、又自作 196 戸 (16.1%)、小作 780 戸 (64.1%) 自作兼小作 240 戸 (19.7%) と区分せられ、耕作段別の廣狹別によつて見れば

5 段未満	443
5 段以上 1 町未満	467
1 町以上 2 町未満	301
2 町以上 3 町未満	14
3 町以上	5

の如くである。

- 3 農耕従事人員 昭和 13 年 12 月末日現在に於ける本市現住農家の農耕に従事する人員(家族及常傭を含む總數)は 2,273 人で、男 1,549 人(68.1%)、女 724 人(31.9%)で前年に比すれば總數に於て 164 人(7.2%)、男 163 人(10.5%)、女 1 人(0.1%)の減少を示してゐる。即ち農家 1 戸當 1.85 人の割合となり、これを區域別について見れば森河内 2.57 人で最高を示し西堤 2.51 人、川俣 2.50 人、小若江

2.39 人がこれに次ぎ、足代、長堂の 1.1 人、三ノ瀬の 1 人が最低となつてゐる。

昭和 12 年末現在に於ける本市生産年齢(市統計係推計)に屬するものは 71,584 人(男 37,356 人、女 39,228 人)であるからこれと對比すれば農耕従事人員は 3.2% (男 2.2% 女 1.0%) の率となつてゐる。

次に農家戸數を農耕従事人員別に区分すれば 1 人の従事員は 513 戸(41.7%)で専農 286 戸(55.8%)、兼農 227 戸(44.2%)を占め次いで 2 人構成が 474 戸(20.9%)で専農 352 戸(74.3%)、兼農 122 戸(25.7%)、3 人構成 170 戸(7.5%)専農 142 戸(83.5%)兼農 28 戸(16.5%) 4 人構成 57 戸(6.6%)専農 46 戸(80.7%)兼農 11 戸(19.3%)、5 人構成 15 戸(0.7%)専農 12 戸(80.0%)兼農 3 戸(20.0%)で 6 人構成は僅に 1 戸(専農)あるに過ぎない。即ち 1 人の従事員をもつ小勞力を以つて営むものが最も多く人員の多きものほど戸數も減じてゐるが専農については 2 人構成のもの最も多く 12.6% で、兼農は人員の多きものほど戸數は著しく減少してゐる。

又耕作段別と従事人員との配合について見れば 6 段未満では 1 人構成が最多數を占め 365 戸で、2 人構成 160 戸が之に次いで居り 6 段以上では 2 人構成が最も多く 311 戸で 1 人構成の 151 戸、3 人構成の 146 戸が之についてゐる。

- 4 副 業 昭和 13 年 12 月末日現在に於ける農家戸數 1,230 戸の中兼農者は 391 戸で前年に比較すれば 13 戸(3.4%)の増加を見てゐる。兼農者の多き區域は前年と同じく衣摺が最も多く 49 戸で長田 41 戸、北蛇草 34 戸、高井田、新喜多 24 戸、大連 24 戸、寶持 23 戸



等がこれに次ぎ、現住農家戸数との割合に於ては實持 95.8% (23戸)、三ノ瀬 85.7% (6戸) が高率を示し太平寺 66.7% (8戸)、岸田堂 66.7% (18戸)、衣摺 58.3% (49戸)、北蛇草 55.7% (34戸) 柏田、吉松 51.5% (17戸)、足代・長堂 57.1% (4戸) となつてゐる。

更にこの営む副業を職業大分類によつて区分すれば商業 186戸 (47.6%) で工業 99戸 (25.3%)、其他の有業者 66戸 (16.9%) 公務自由業 20戸 (5.1%)、交通業 14戸 (3.6%) 農業 6戸 (1.5%) の順位となつて居り、商業の多きは小賣經營をなす者及青物行商をなすもの多きによる。

**5 耕作面積** 昭和 13 年 12 月末日現在に於ける、本市耕地面積は總數 9,349 段で田 7,207 段 (77.1%)、畑 2,142 段 (22.9%) であつて前年に比すれば、前年末現在の總數 10,469 段 (田 8,120 段—77.6%、畑 2,349 段—22.4%) より擴張 46 段 (田 19 段、畑 27 段) 潰廢 1,170 段 (田 926 段、畑 244 段)、田を畑となしたるもの 16 段となつて居り、差引田 913 段 (11.2%)、畑 207 段 (8.8%)、計 1,120 段 (10.7%) の減少を見てゐる。

この中本市現住の農家によつて耕作せる段別及び入作段別の割合は次の如くである。

	耕地面積	布施市現住農家耕作		入 作	
		面積	同割合	面積	同割合
總 數	9,349	8,314	0.889	1,035	0.111
田	7,207	6,489	0.900	718	0.100
畑	2,142	1,825	0.852	317	0.148

即ち全面積の 88.9% が 市内在住農家の耕作地であり、残りの 11.1% が入作で前年より 7.7% 減少してゐる。一方出作について

見れば總面積 4,452 畝 でその内譯を見れば田 3,539 畝 (79.5%)、畑 913 畝 (20.5%) であつて、出作をなせる農家 1 戸に付き 31.8 畝の割合となつて居り、之によつて見れば入作 1,035 段に對し出作が僅に 445 段であるから 590 段の入作超過を示して居り、前年に對比すれば、1,008 段 (63.1%) 減少してゐる。出作地を農家の現住區域について觀察すれば友井が最も多く 1,642 畝で總出作面積の 36.9% を占めてゐる。

農家 1 戸當平均耕作段別 (出作地を含む) は 71.2 畝 (田 55.6 畝畑 15.6 畝) で、又從事人員 1 人當平均耕作段別は 38.5 畝 (田 30.1 畝畑 8.4 畝) で前年より僅少の増加を來してゐる。更に區域別にみれば農家 1 戸當につき御厨 107.4 畝で最高位を占め、南蛇草の 94.9 畝長田の 89.8 畝、近江堂の 86.6 畝、大連の 84.4 畝、新家の 83.6 畝川俣の 83.4 畝等が次ぎ、三ノ瀬の 14.6 畝、荒川・永和の 18.1 畝が最低位を示して居り、大率市の周邊部が高位である。

田畑面積の配合については田 100 に付畑 28.0 の割合であるが、區域によつて見れば三ノ瀬 117.5、森河内 195.6、稻田・橋本 90.6、下小阪 18.4、小若江 11.9 で著しい區域的特色が顯はれてゐる。この配合は地形、地質上或は人文地理上多くの影響を受けるものであるが森河内が 195.6 の高い割合を占めてゐるのは同地方が全國有數の園藝農業地帯であることと共に刮目すべき現象である。

本市現住農家の耕作面積を經營種別によつて分てば自作地 23,335 畝、小作地 59,795 畝 (出作地を含まず) である。

**6 農業經營事情** 昭和 13 年 12 月末日現在に於ける本市現住農家の農業經營事情について見れば 1 町未滿の耕作者 910 戸 (74.0%)、1 町以上 2 町未滿 301 戸 (24.5%)、2 町以上 3 町未滿 14 戸 (1.1%)、

3町以上は僅に5戸(0.4%)で1町未満の小耕作者が最多数を占めて居り細分すれば

	農家戸數	農家戸數	農家戸數	農家戸數	農家戸數
總 數	1,230	3-4	111	8-9	82
農 戸		4-5	109	9-10	83
0-1	28	5-6	112	10-20	301
1-2	88	6-7	97	20-30	14
2-3	107	7-8	93	30以上	5

の如くで5段以上6段未満を耕作せる者が最も多く、それより上下共に漸減してゐる。又區域別に見れば1町以上の耕作者は御厨に最も多く53戸あり、長田45戸、衣摺24戸、西堤21戸等が之に次いでゐる。更に累年の狀況について見れば次の如くである。

	農 家 戸 數				
	0-5	5-10	10-20	20-30	30-
昭和13	443	536	232	14	5
12	456	484	296	9	3
11	611	609	190	16	4
10	636	621	202	18	5

田畑の各耕作段別に区分し、農家戸數を見れば次の如くである。

	田				
	0-5	5-10	10-20	20-30	計
0-5	581	421	166	12	1,180
5-19	27	19	2	2	50
10-20	—	—	—	—	—
20-	—	—	—	—	—
計	608	440	168	14	1,230

又耕作面積を自作小作別に区分すれば

農 戸	自 作	小 作	自作兼小作
0-5	72	343	29

5-10	60	303	98
10-20	63	131	107
20-	8	7	4

の如くで自作小作共に5段未満のもの最も多く、兩者を兼ねるものは1町以上2町未満が最も多い。而して自作は1町以上2町未満及び2町以上のもの共に小作及自作兼小作に比して割合に多い率を占めてゐることがわかる。更に専農兼農別によつて分てば次の如くである。

	農 家 戸 數			
	0-5	5-10	10-20	20-
専 農	238	342	242	17
兼 農	206	124	59	2

即ち専農者では5段以上1町未満のものが多く、1町以上2町未満のものが之に次いで居り、兼農者は5段未満のものが最も多数を占めてゐる。耕作段別と従事人員との關係について農家戸數を見れば専農に於ては5段未満のもの、中1人構成のもの155戸、2人構成69戸、3人構成12戸、4人構成2戸、5段以上1町未満では1人構成95戸、2人構成169戸、3人構成61戸、4人構成13戸、5人構成4戸、1町以上2町未満では1人構成39戸、2人構成105戸、3人構成65戸、4人構成25戸、5人構成7戸、6人構成1戸、2町以上では1人構成1戸、2人構成4戸、3人構成6戸、4人構成5戸、5人構成1戸の割合となつて居り、而して5段以上1町未満中2人構成のものが最多数を占め、5段未満の1人構成、1町以上2町未満の2人構成が之に次いでゐる。又兼農では5段未満中1人構成は163戸、2人構成は40戸、3人構成は1戸、4人構成は2戸、5段以上1町未満では1人構成56戸、2人構成58戸、3人構

14 總 説

成7戸、4人構成2戸、5人構成1戸、1町以上2町未満では1人構成6戸、2人構成26戸、3人構成17戸、4人構成9戸、5人構成1戸、2町以上では1人構成1戸、5人構成1戸となつて居り、5段未満1人構成が最多數で、5段以上1町未満の1人構成並に2人構成の順位となつてゐる。

統 計 表



参考表

耕地面積 (單位段)

Table showing land cultivation area statistics from 1933 to 1939. It includes columns for '年末現在' (Year-end existing), '年内擴張' (Increase within year), '年内潰廢' (Decrease within year), and '實際耕作延面積' (Actual cultivated area).

農家戸數

Table showing the number of farming households from 1933 to 1939. It includes columns for '現住世帯數' (Current household count) and '農家戸數' (Total number of farming households).

※國勢調査(10月1日)に依ル。米作農家=準農家1戸ヲ含マズ。

農産額 (單位圓)

Table showing agricultural production values from 1933 to 1939. It lists various products like rice, wheat, silk, and other crops.

1 農家總覽 (昭和13年末)

Main table providing a detailed overview of farming households by region, including household counts and statistics on livestock such as cattle, horses, and pigs.













7 農家戸数・経営ニ依リ

Table with 13 columns (Total, 0-1, 1-2, 2-3, 3-4, 4-5, 5-6, 6-7, 7-8, 8-9, 9-10, 10-11) and 4 rows of household counts and staff numbers.

8 農家戸数・従事人員ニ

Table with 13 columns (Total, 0-1, 1-2, 2-3, 3-4, 4-5, 5-6, 6-7, 7-8, 8-9, 9-10, 10-11) and multiple rows showing staff counts by category.

分チタル耕作面積別

(昭和13年末)

Table with 17 columns representing area segments (11-12 to 30以上) and 4 rows of household counts.

依リ分チタル耕作面積別

(昭和13年末)

Table with 17 columns representing area segments (11-12 to 30以上) and multiple rows showing staff counts by category.

9 農家戸數・自作小作別 (昭和13年末)

種	數	總 數		自 作		小 作		自作兼小作	
		戸 數	人 員	戸 數	人 員	戸 數	人 員	戸 數	人 員
總	數	×14 1,216	×23 2,250	196	△1 357	780	△2 1,334	240	556
1 足代・長	堂	7	8	—	—	7	8	—	—
2 三ノ	瀨	7	7	—	—	7	7	—	—
3 荒川・永	和	8	10	—	—	7	8	1	2
4 大岸	寺	12	14	—	—	12	14	—	—
5 岸井	堂	27	35	2	2	25	33	—	—
6 高田・新喜	多	73	95	14	20	51	64	8	11
7 森河	内	68	175	9	22	44	114	15	39
8 川	俣	26	65	7	18	12	23	7	24
9 西	堤	43	108	10	28	15	27	18	53
10 長	田	136	276	21	△1 45	87	151	28	79
11 藤	戸	4	9	1	3	3	6	—	—
12 稻	田・新橋	87	165	8	12	70	132	9	21
13 新	家	×4 42	×5 81	7	14	24	39	11	28
14 荒	本	71	160	7	12	46	97	18	51
15 御	厨	85	137	5	10	57	85	23	42
16 菱	屋	×1 39	×1 101	3	8	25	62	11	31
17 上	小	25	32	5	6	16	22	4	4
18 中	阪	40	52	11	12	18	24	11	16
19 下	小	14	19	1	1	10	△2 12	3	4
20 寶	阪	24	52	1	2	17	34	6	16
21 小	持	×2 29	×4 70	4	8	20	48	5	14
22 友	井	×7 49	×13 100	15	34	26	51	8	15
23 近	江	56	93	17	26	23	36	16	31
24 柏	田・吉	33	45	6	9	19	22	8	14
25 金	岡	—	—	—	—	—	—	—	—
26 大	蓮	44	67	5	7	34	51	5	9
27 衣	摺	84	150	17	25	49	85	18	40
28 南	蛇	22	30	5	8	13	16	4	6
29 北	蛇	61	94	15	25	43	63	3	6

×出作ノミナス者ヲ別掲ス。△常備ヲ示ス。

昭和14年6月10日印刷

昭和14年6月20日發行

布施市役所

大阪市天王寺區勝山通1丁目

印刷者 金山 實

大阪市天王寺區勝山通1丁目

印刷所 帝國印刷所

電話天王寺①1522番

14.2  
925

14. 24-925



1200501164005

142  
25

1424

1424  
925

終